



地図の2D/3Dビューによる 祭りへのサービス提供の試み

平成28年6月7日

オリーブ技術士事務所
ソニック株式会社

サービス提供の背景（地域、祭り概要）

■埼玉県川越市について

○「蔵造りの町並み」で有名な関東有数の観光都市

○年間観光客入数 → 約**664万人**

（川越市発表、平成27年度）

○「川越まつり」観光客入数 → 約**92万人**

（川越市発表、平成27年度）

■川越まつりについて

○江戸の天下祭を今に再現した山車行事

○最大29台の「山車」が市中を曳行する

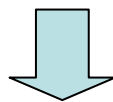


サービス提供の背景（祭りに対する顧客要求）

- 参加している「山車」が今どこにいるのか？
（最大29台の山車位置）
- 観たい「山車」へ行くには？（道案内）
- 目の前にいる「山車」の情報とは？
- 今、どこでどのようなイベントが行われているのか？
- 現在地から一番近くの休憩場やトイレへ行くには？（道案内）



など



祭り見物客へ高性能な地図を使った、位置情報提供や道案内機能を持った携帯端末アプリが現存しない

サービスの内容（1）

★各参加「山車」（最大29台）にGPS端末を設置

●2Dマップ（Google）

- ・全体の位置情報を表示
- ・山車がどのように動いているか確認が可能



●3Dマップ（地理院）

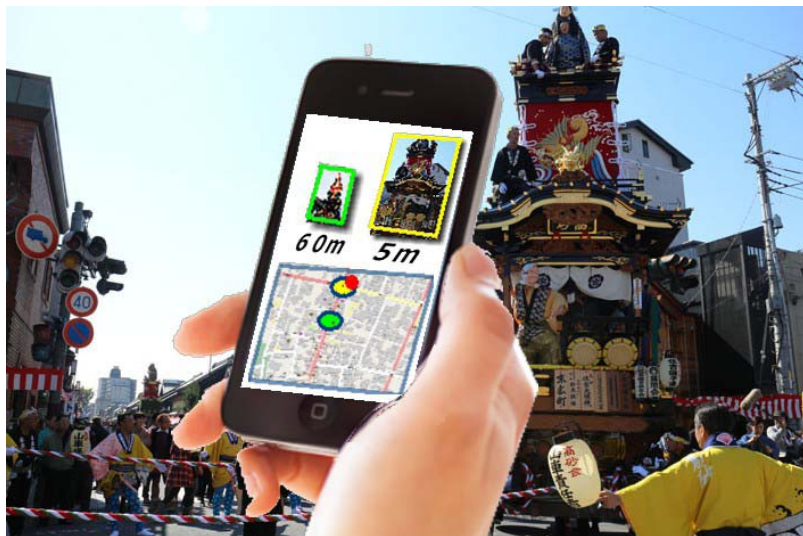
- ・山車や建物も3D画像で表現
臨場感のある表示
- ・自分自身の目線、歩行と連動



サービスの内容（2）

●現在の「山車」情報

- ・GPS機能を利用して、山車の位置を把握することで、目の前の「山車」に関する情報を自動的に検索、参照することが可能



●任意の山車の位置探索

- ・自分から遠くて見えない山車や、建物の影に隠れた山車も把握することが可能

サービス提供への課題

●各参加「山車」（最大29台）に設置するGPS端末について

- ・バッテリー消費の管理
- ・電源ON/OFF作業

●GPSの精度

- ・リアルタイムの位置情報精度が1M以内を確保できるか？

●レスポンス

- ・利用客の目標数100万人が同時アクセスした場合のストレスのないレスポンスの実現

●トラフィック

- ・データ使用量を現実的なレベルに出来るか？

※10時間程度継続使用しても300MB程度の消費を目指す

将来展望

- 3Dマップ上(地理院)にリアルな建物などの画像を順次対応し、ビジュアルにこだわった臨場感あるマップ(ナビ)システムを追求する。
- 多国語への対応
※2020年東京オリンピックに向けたインバウンド需要への準備
- 「川越まつり」に留まらず、3Dマップを主体とした、暮らしに役立つ情報や、観光都市「川越」の観光には欠かせない必須アイテムを目指す。

例えば・・・

※店舗、施設との連携サービス

各店舗の宣伝情報、販売品、食事メニュー等を掲載することにより、利用者にとって便利なサービス提供

